

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.113 2004. 2

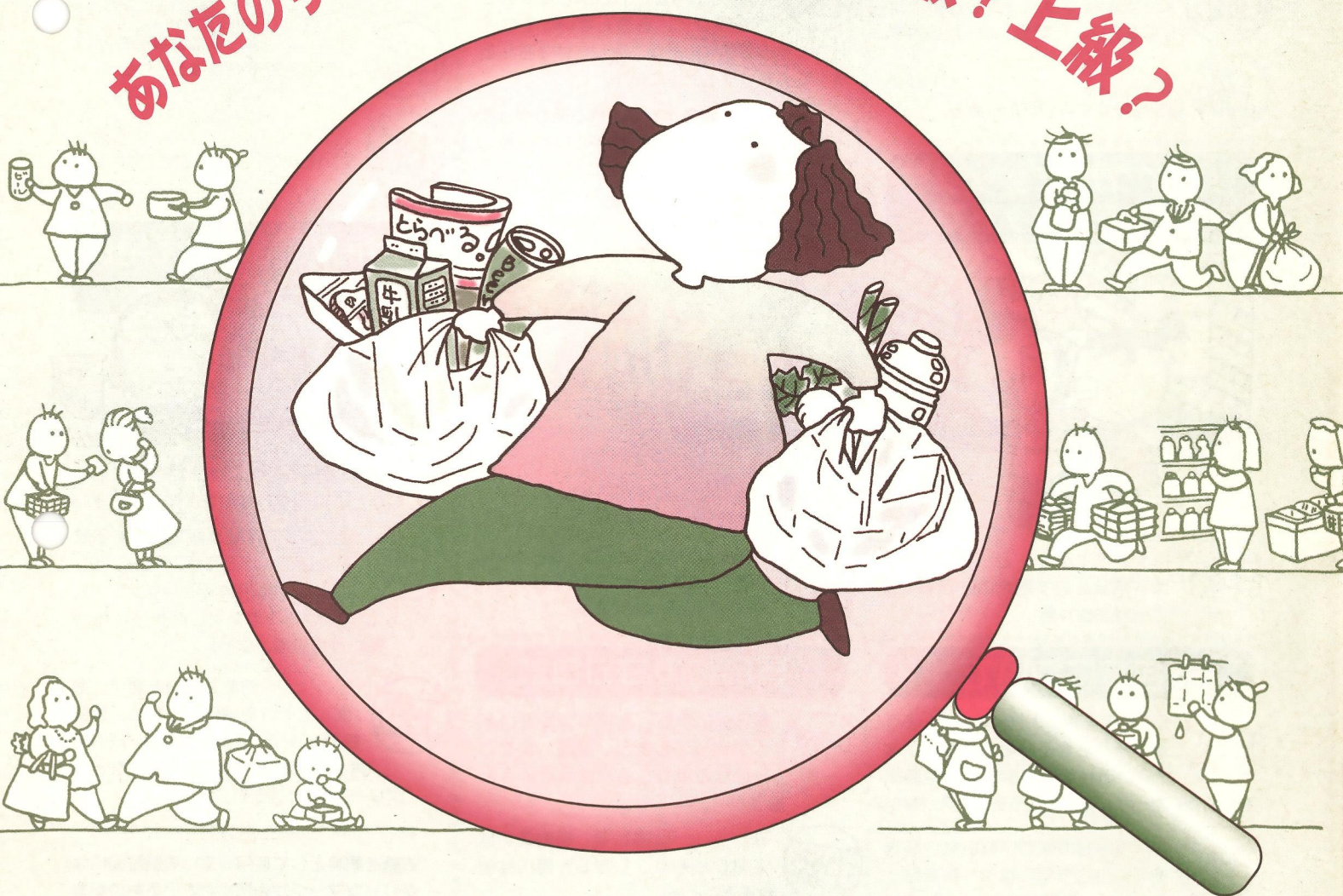
<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

検証その2

あなたのリサイクル度は？初級？中級？上級？



● 教えて、聞かせて

「リサイクル教室」出前講師です！

P3

● 今月のリサイクルデザイナー 特別版

P6

● エコクッキングおもちの炒め煮・コラム「リサイクル今とむかし」こぼれ話

P7

● エコスポットにつこう生活館・環境絵日記

P8

あなたのリサイクル度は？ ～初級？中級？上級？～

検証

その2

1月号で、読者に募ったアンケートの回答をもとに“検証 あなたのエコ度は？”という特集を掲載しましたが、今回はその検証の第2弾。エコロジーの中でも、特に“リサイクル”に照準をしばってみました。アンケートの回答に添えられた本誌へのご意見・ご感想には、リサイクルを進めるためには、具体的にどんなことをすればいいのかという声が多数あったからです。

スーパーで その1



初級 マイバッグのことは知っているが、なかなか持参できない。

中級 レジ袋が有料になっている店に行くときだけマイバッグを持参。レジ袋をもらった場合、余ったら返す。

上級 いつでもどこへでもマイバッグを持参。レジ袋をすすめられたら断る。

リサイクルショップやフリーマーケットで



中級 時々利用するが、どちらかといえば不用品を出す場合の方が多く買うことはあまり無い。

包装について

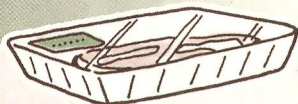
初級 自家用でも箱に入れ包装してもらう。断ろうと思う時もあるがなかなか言い出せない。家で袋や包装紙を再利用したいが、あまり使うチャンスがない。

中級 自家用のものはいい包装を断る。小さなものはシールを貼ってもらい、袋は使わない。たまった包装紙や袋は必ず再利用する。贈り物はきちんと包装してもらう。

上級 贈り物でも、よほどかしこまった相手でなければ簡易包装にしてもらう。



その2



初級 生鮮品を買う場合、発泡トレーにのっているかどうかは気にしないが、トレーはなるべくリサイクルに出そうと思っている。

中級 生鮮品を買う場合、発泡トレーにのっているかどうか少し気になるが品選には影響しない。その代わりと言ってはなんだが、トレーはきちんと洗って必ずリサイクルに出す。

上級 生鮮品を買う場合、ばら売りや計り売りの物を選ぶようにしている。発泡トレーその他の包装材は、できるだけ排除したい。

モノが家に入ってくる場面

初級 年に何回か、ほとんど不用品を出す立場で利用する。

上級 ひんぱんに利用している。物を買う場合、まずはリサイクルショップやフリマをチェックする。

買い物のココロ

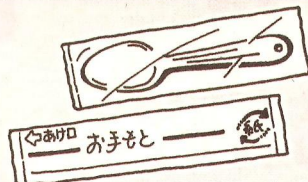
初級 要らないかも、と思いつつ安いとつい買ってしまふ。結局、すぐごみになるのでこの次はやめようと思うが……。

中級 ムダなものは買わず、衝動買いはしないつもり。しかし、時には失敗することも。

上級 必要ないと思ったら、ただで配っている粗品や景品さえもらわない。



コンビニで



初級 スプーンやはしをもらうことが多い。断ろうと思うが言い出せない。

中級 スプーンやはしは必要な場合だけ（外出先で食べるなど）もらう。

上級 マイスプーン、マイはしを常備しているので、もらうことはない。

日用品の詰め替え用について



初級 詰め替え用のある商品を選んだほうがいいことはわかっているが、なかなか実行できない。

中級 物によっては詰め替え用のある商品を選ぶ（たとえば、ボールペンは替え芯を利用するがシャンプー・リンスは好みの銘柄に詰め替え用が無いから無理、など）。

上級 詰め替え用のあるものを選び、徹底してそれを利用。ほかに、再生紙100%のトイレットペーパーや、再生素材でできた文具を選ぶなど、グリーン購入に配慮している。

*グリーン購入とは……

古紙を原料として使用している紙製品にはグリーンマークが表示されているものがあります。環境保全に役立つ商品にはエコマークが表示されています。使用した牛乳パックを原料とするトイレットペーパーなどには牛乳パックリサイクルマークが、ペットボトルをリサイクルした商品にはペットボトル再利用品のマークがついています。そういった商品を選び、進んで利用することをグリーン購入といいます。



これまでほとんど関心が無かったが、本誌や市の広報などによってG30を知り“リサイクルに取り組まなくてはいけないのかな”と気づき始めた。正直言って少し面倒だが、決められたことなら仕方ないかなと思っている。

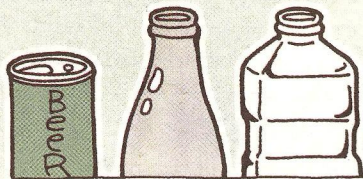


自分にできることは実行しようと考えている。市の分別回収品目の細分化にもできるだけ貢献したい。しかし、時には自分に甘くなって徹底できないことも。



行政がごみの減量やリサイクルを提唱する前から、自主的にリサイクルやリデュース、リユースに取り組んできた。周囲の人にもそういった暮らしの大切さを伝える努力をしている、あるいはしたいと思っており、リサイクルだけでなく環境全般に関する情報にアンテナを張っている。

カン・びん・ペットボトルなどの分別で



時々、分別してリサイクルに出す。しかし、中を洗ったりキャップやラベルを取り除くことまではできない。



使い捨て容器入りのものを買わないほうがいいことはわかっているが、買ってしまふときがある。分別はきちんとし、中を洗いキャップやラベルを取り除いて必ずリサイクルに出す。



使い捨て容器入りのものは、よほどのことがない限り買わない。ペットボトルよりは紙パックを選ぶ。どう努力してもたまってしまったびんは、きちんと分別して、中を洗いキャップやラベルを取り除いて必ずリサイクルに出す。外出先で購入した際も、家に持ち帰って正しく排出する。酒びんのキャップやクリーニング店のハンガーも小さな金属として出している。

古布の扱いで



服が傷んだらファイバーリサイクルに出すこともある。



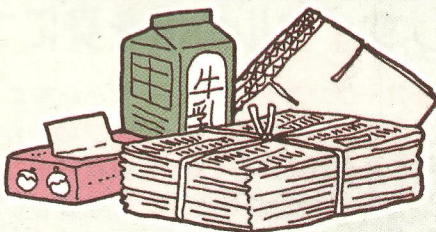
服が傷んだらファイバーリサイクルに出す。子どものズボンが擦りきれたら、1回だけ膝あてを縫い付けて使用。



服が傷んだら、リメイクしたりファイバーリサイクルに出す。子どものズボンが擦りきれたら、何回でも膝あてをくり返し、徹底的に着倒す。古布のリメイク教室に通うなどして、リユースの技に磨きをかけている。

モノが家から出ていく場面

紙類の分別で



新聞・折込チラシだけはなるべくリサイクルに出す。



新聞・折込チラシ、段ボール、紙パックは必ずリサイクルに出す。出す際に束ねるのは紙ひも（小結くん）と思いつつ、ビニールひもを使うこともある。裏の白い紙は再使用してから出すこともある。



新聞・折込チラシ、段ボール、紙パックのほか、お菓子の外箱や封筒など、手のひら大以上の紙はすべて種類ごとに分けてリサイクルに出す。束ねるのは必ず紙ひも（小結くん）。裏の白い紙は必ず再使用してから出す。

生ごみの扱いで



生ごみは家庭ごみとして出す。出す際に特に気をつけていることはない。



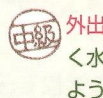
生ごみは家庭ごみとして出す。水分を絞ってから出すようにしている。



食べ残しをしない、作り過ぎない、野菜の皮や葉も利用するなど工夫して、生ごみをなるべく出さないよう心がけている。出てしまった生ごみはコンポストに入れ、肥料にしている。コーヒーかすやお茶の葉などは掃除に使ったり庭にまいたり、脱臭剤として再利用している。



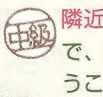
その他



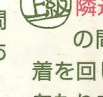
外出の際はなるべく水筒を持参するようにしている。



外出の際は必ず水筒を持参する。



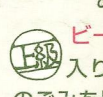
隣近所や親戚の間で、古着を回しあうことがある。



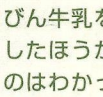
隣近所や親戚の間では、古着を回しあうのがあたりまえ。



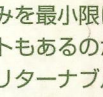
びんビールや、びん牛乳を利用



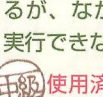
入りが常識。包装材のごみを最小限に抑えるメリットもあるのが魅力なの



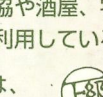
のはわかっているが、なかなか



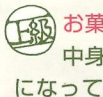
で、リターナブルびんを扱う生協や酒屋、宅配牛乳などを利用している。



使用済みの乾電池は、それだけをまとめて透明なビニール袋に入れ、分けて出している。



充電式の電池を使用している。



お菓子など、中身が個包装になっていてビニールごみが多くなりそうな品は買わない。



米は米袋持参で米屋で買い、精米して出た糠は糠漬け、みそ汁に少し入れる、洗顔料として、など工夫して使いきる。

さて、あなたはどのレベルに該当しますか？

初級だったら、今年中に中級へ、中級なら上級へ、そして上級の人にはさらに独自の工夫を重ねて最上級へのレベルアップをどうぞ。こんなやり方をしたら簡単だったとか、便利だったというリサイクルの知恵は、本誌編集室までどしどしお寄せ下さい。みんなで協力して、次のステップを目指しましょう。



教えて、聞かせて

「リサイクル教室」出前講師です！

昨年は「よこはまG30プラン」が始まり、G30の分別モデルがスタートしてからは、たくさんの地域から出前講師のお声がかかりました。今回はその様子を紹介します。

出前講師派遣状況

11/5	港南区桜岡小学校4年生
11/6	自治労横浜教育支部女性部
11/7	港南区日下小学校4年生
11/12	金沢中部地区地域G30活動委員会
11/14	緑区十日市場小学校4年生
11/15	緑区推進部委員
11/19	神奈川区G30サポーター
11/21	神奈川区G30サポーター
11/29	栄区犬山小学校4年生
12/1	緑区十日市場中学校学校保健委員会
12/2	西区浅間台小学校全校生徒
12/9	西区戸部小学校4年1組
12/10	都筑区すみれが丘小学校6年1組
12/11	神奈川区池上小学校4年2組

その1

神奈川区G30サポーター勉強会

興味を持つことは、リサイクル行動の始まり！

この日はいつもの小学生と違い大人の人に話をするので講師も少し緊張気味でした。

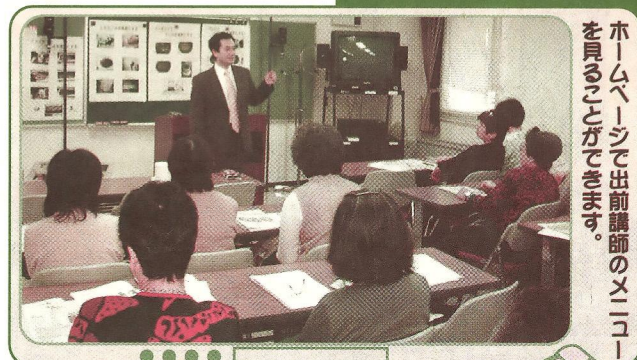
横浜市の年間のごみ量がランドマークタワー12杯分という話に、皆さんびっくり。その12杯分のごみの量を30%減らす(8杯分に作る)ためにはどうしたらいいかの話に入ります。ビデオを見ながら、紙ごみを減らすための紙の分別の仕方や、回収に出すときは、袋に入れないで必ず紙ひもで縛った方がごみにならないという話に、興味津々で耳を傾けます。

質問の中に「新聞と同配されてくるコーティングされているチラシはどう分別するの？」というのがありました。正解は「新聞と同配されてくるチラシは新聞と一緒に出して構いません」ですが、中には窓付き封筒で来る請求書などは、どうしたらいいか？などなど、これからの拡大分別収集品目の分別に役立ちそうなものもありました。

最後にモノを買う時には、私たち消費者もグリーン購入を

03年11月21日 30名

意識して買うようにしたいという、G30サポーターの皆さんの頼もしい意見を聞くことができました。



▲熱心に聞き入るサポーターの方達

ホームページで出前講師のメニューを見ることができます。

その2

横浜国立大学犬山小学校4年生

楽しく調べて、リサイクル習慣を身につけよう！

「地域の方々に学校を公開するオープンスクールの日なので、児童が『ごみのゆくえ』について調べ、発表会を行います。その後、リサイクルの話をしてください」と担任の林先生。4年生1クラスと、初の試み『ワークショップ形式』の出前授業です。

オープンスクールでは、子どもたちは6つのグループに分かれて、「ごみの出し方」「身近なもののリサイクル」「リサイクルのマーク」「リサイクルのおもちゃ」「分ければ資源」「ごみが埋め立て地に来るまで」のテーマで調べてきたことを発表。「リサイクルのおもちゃ」のグループは、牛乳パックの人形やペットボトルのけん玉などを作り、作り方や遊び方を披露。それぞれ発表時間が少ない中、緊張しながらも一生懸命発表していました。

いよいよ出前講師の出番のワークショップです。子

どもたちは初めての体験に何をやるのかワクワクしながら準備を待ちます。グループに1枚の大きな模造紙と全員にふせんが渡され、話し合いのテーマ『どうしたらごみを少なくすることができるか』を考えます。

ふせんに自分の考えを書いて模造紙にペタペタはり、出てきた意見を項目ごとに

まとめます。グループの中から発表者が出て最後に発表をします。楽しくスラスラと意見が出てくる子、首をひねって知恵を絞りだしている子とさま

ざま。途中から、授業を見に来ていたお父さん、お母さん、おばあちゃんたちにも参加してもらいました。

犬山小4年生が考えたごみの減量・リサイクルの工夫は、多い順に1.いろいろなものは買わない 2.何でも最後まで使う 3.リサイクルしたものをまたリサイクルする 4.フリーマーケットをたくさんする 5.買い物には必ずバックを持って行く 6.教科書を古紙100%にする 7.食べ残しをしない…などなど。「今までごみやリサイ

クルについて考えたことはなかったけど、すごく楽しかった」「リサイクルなんて家では今までしていなかったけど今日からやろうと思う」といううれしい感想も。

最後に講師から、「みんなは食事をするときにあたりまえのように「いただきます」と言いますね。それは、食事を作ってくれた人や農家の人、それと自分の血となり肉となる魚や動物に対して言っているんですね。「リサイクル」も「いただきます」と同じで、あたりまえにすることができるようになればいいなあと思います」とメッセージを伝えました。



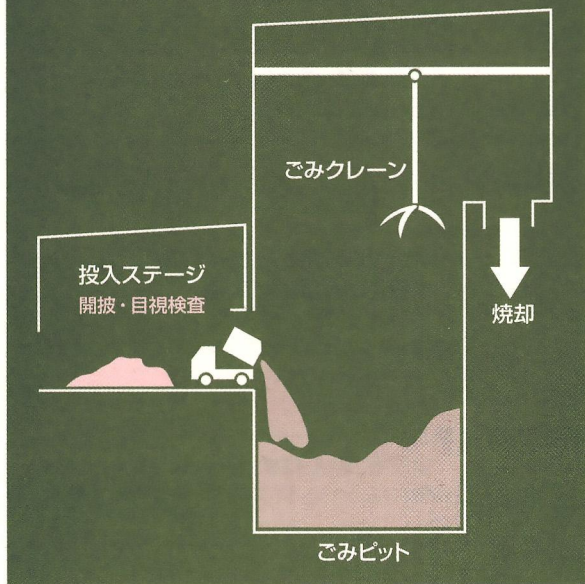
事業系ごみの 減量・リサイクル化進む!

横浜市では12月1日より産業廃棄物の建設木くず等の焼却工場への搬入停止、資源化可能な古紙の資源化施設への誘導を行っています。具体的には焼却工場での搬入物検査を強化し、建設木くずやプラスチック類や資源化可能な古紙などが多量に混入している場合は、搬入業者に持ち帰り指導をしています。

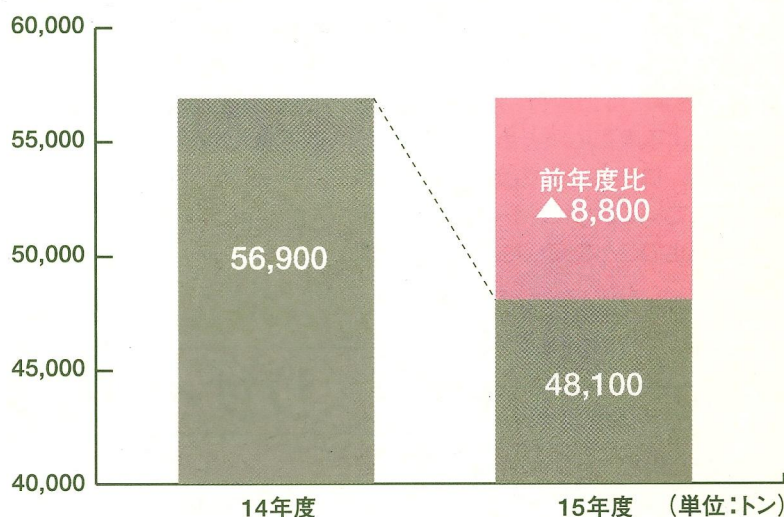
実施開始の12月1日から1か月間で次のような結果が出て、事業系ごみのリサイクル・適正処理が進んでいることがわかりました。

開披検査とは…

投入ステージの床面にごみを出し（開披）、内容物の検査を行なう事。



●事業系ごみ焼却工場搬入量比較（12月1か月間）



●周知・指導

- 搬入物チェック台数2,057台 (かいひ 開披667台、目視1,390台)
- 持ち帰り指導 86台

建設木くず
プラスチック類
古紙
NO!



事業系ごみの 減量・リサイクル化に向けた 搬入物検査の強化について

(回答 鶴見工場)

Q 搬入業者が12月1日から建設木くず等の焼却工場への搬入停止について、搬入業者の理解はどの程度ですか?

A 12月1日からの建設木くず等の搬入停止や紙類のリサイクルに向けた取り組みについては、事前に関係業界（一般廃棄物収集運搬許可業者連絡会や排出者である建設団体、建物解体業界等）への説明やパンフレットの配布、ダイレクトメールの送付、ポスターの掲示などによる周知につとめてきました。その結果、事業系ごみの搬入量の減少にも表れているように、多くの搬入業者が搬入停止のことを知っていたものと思われます。

Q 「搬入物検査の強化」によって、今までの検査と違うのは具体的にどこなところですか?

A 今までも焼却工場への搬入物検査は実施してきましたが、今回は12月からの木くず等の搬入停止に伴い、開被検査（ごみ投入ステージの床面に直接ごみを開けて、内容物を確認する検査）を主体に、市内6工場が毎日搬入物検査を実施しました。今後も日常の搬入物チェックや開被検査を実施し、焼却場への適正搬入物検査を強化します。

Q 搬入業者が持ち帰り指導を受けたとき、どのような反応がありましたか?

A 鶴見工場でも、建設木くず、プラスチック類などの混入や多量のダンボールなど資源化可能な紙類を持ち込んだ車両に対しては、持ち帰り指導を行いました。現場ではG30によるごみ減量化の取り組みなどを説明しており、大きなトラブルもなく、排出業者の方々も指導に従っています。

一部の運転手さんが「自分は運んでるだけで、運搬物についてはよく判らない、会社に確認したい」との申し出があり、電話で会社の責任者に説明することもありました。

今後も引き続き適正搬入に向けた指導を続けるとともに、ごみの出所である排出事業者へもさらに働きかけを行っていきます。

リサイクル掲示板

センターリサイクル

●2月1日(日)

・青葉区 センターリサイクル
環境事業局青葉事務所裏駐車場

時間：午前9:30～12:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、雑紙、段ボール、牛乳パック、
繊維類、小物金属、リターナブルびん

問い合わせ

環境事業局青葉事務所 TEL 975-0025

●2月1日(日)

・泉区 センターリサイクル
環境事業局泉事務所構内

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、
毛布、カーテン、着物、酒びん、ビールびん、
アルミ缶、スチール缶、小物金属

問い合わせ

環境事業局泉事務所 TEL 803-5191

●2月8日(日)

・かながわ センターリサイクル
神奈川区 反町公園（神奈川区役所側）

時間：午前10:00～午後1:00

※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着、古布、
白色トレイ、リターナブルびん

問い合わせ

エコライフかながわ TEL 413-3196

●2月14日(土)

・センターリサイクル inせや
瀬谷区二ツ橋公園

時間：午前9:00～12:00

※雨天実施、車で搬入可

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、古布、
毛布

問い合わせ

環境事業局瀬谷事務所
区役所ごみゼロ推進担当 TEL 364-0561

●2月15日(日)

・旭区 センターリサイクル
環境事業局旭工場内

時間：午前9:00～12:00 ※雨天実施

回収品目

新聞、雑誌、段ボール、紙パック、繊維類、
リターナブルびん、アルミ缶、スチール缶

問い合わせ

環境事業局旭事務所 TEL 953-4811

●2月21日(土)

・中区 センターリサイクル
①横浜公園日本大通り側
②環境事業局中事務所

時間：午前9:00～12:00 ※雨天実施、車で搬入可
(ただし横浜公園内には車の乗り入れはできません。
案内人が誘導します。)

回収品目

新聞紙、雑誌、雑紙、段ボール、紙パック、古布、
缶、びん、ペットボトル、リターナルびん

問い合わせ

環境事業局中事務所 TEL 621-6952
区役所ごみゼロ推進担当 TEL 224-8140

今回は年頭に当たり、昨年5月に就任した秋元康男理事長が、
昨年を振り返っての感想、そして今年の抱負を語ります。

横浜市資源リサイクル事業協同組合

理事長 秋元康男



戦後復興の中で行われ続けた「大量生産・大量消費・大量廃棄」という
社会構造により現在では物があふれて、さまざまな環境問題が起きていま
す。これは単に大量廃棄の行き先を大量リサイクルに変えるのでは解決で
きません。どうすれば社会の構造を「持続可能な循環型」に作り直すこと
ができるかが、これからの社会づくりには必要なのです。

2003年を振り返って

理事長に就任する前は副理事長として
会計や事業の実務を担当していたの
ですが、就任してから対外的なことが
増えだいたい忙しくなりました。組合員
をまとめていくことの難しさも感じて
います。しかし会計を専任の者に任せ
たりして、徐々に内部の事務関係を整
えてきました。また事務局も精力的に
活動しています。

横浜市では、G30プランにより昨年
10月から市内モデル地区で資源の分別
収集品目を増やしたところ、家庭ごみ(燃
やすごみ)が30%以上減ったという結
果がでました。また新しい分別収集品
目のうち全体の35%以上がプラスチック、
46%以上が古紙だという結果が出て、
この試みの成功を確信するとともに、
市民のみなさんのリサイクル意識の高
さが確認できました。

日本ではかつて、非常にリサイクル
がうまくいっていたんです。リサイク
ル型社会が確立した環境にやさしい国

でした。江戸幕府開府から400年とい
うことで、リサイクルの栄えた江戸時
代の暮らしを、イラストを入れて分か

りやすく資料化した小冊子『リサイク
ル 今とむかし』を発行し、組合として
初めて出版事業に取り組みました。

2004年を迎えて

持続性のある循環型社会をめざすた
めには、地域に根ざした形での啓発活
動が重要だと日々実感しています。月
刊リサイクルデザイン(本誌)の部数
拡大とリサイクルデザインフォーラム(子
ども環境会議&環境絵日記)に引き続
き取り組んでいきます。しかし昨年に
続き、今年も景気の低迷で思うように
業績があがらないことが予想されます。
そのため理事長就任時、4~5年先を目
標としていた『組合単独、独自の事業
を推し進め、それを事業全体の50%に
する』ことを前倒して進めていこう
と思います。それには昨年稼動したリ
サイクルポート山ノ内の充実が第一と
考えています。現在6割の稼働率なので、

これを平成17年度中に目標値10割に
上げるのが目標です。

ほかにも挑戦していきたいことはい
ろいろありますが、今はまだ地固めの
最中です。今までの10年でやってきた
ことをもとに、さらにしっかりとした
基礎を固めていきたいです。リサイク
ル産業にも大企業がつぎつぎに参加す
るようになりました。私たち組合員は個々
がリサイクルのプロです。それぞれが
持てる力を最大限発揮し、一致団結し
て臨んでいきたいと思っています。今
年も組合員、横浜市民のみなさんとリ
サイクルの輪を広げていきたいと願っ
ています。

よろしくお願いします。

びっくり その1

リサイクルボーイ・
トイレトーパーは、
ごみが出ない芯なしロール。
しかも専用ホルダーでは
なくふつうのホルダーで
使えます。

トイレトーパーは再生紙があたりまえ。
だってトイレに流しちゃったら再生できないんだから。

リサイクルボーイ
トイレトーパー



★使ってびっくり

びっくり その2

手にするとずっしり重い。
それもそのはず、ふつうのトイレト
ーパー(シングルで60m)の2倍
以上の長さ(130m)です。「使っ
ても使ってもなくなるんですね」
との声も寄せられるほど(もちろん
いつかはなくなるけど)。

びっくり その3

再生紙なのにソフト。
パーজনパルプのティッシュより
お肌にやさしい! 愛用者の某リサイ
クルデザインの関係者いわく、「ティ
ッシュを使うと鼻の下がごわごわに
なるのに、このトイレトーパーだと
大丈夫なの」(実話です)。

シングル芯なし130メートル1パック(6ロール)あたり価格420円

注文受付は1ケース(48コ入=6コ入りパック×8)より
1ケース 3,360円(配送料込み)

※消費税・振込料はお客様のご負担をお願いします。

事業所、学校等はもちろん、お友達と分け合ってもお得!
(横浜市の支出命令書も使えます)

●ご注文・お問い合わせは
横浜市資源リサイクル事業協同組合
電話 045-316-4050 FAX 045-316-6050



おもちの炒め煮

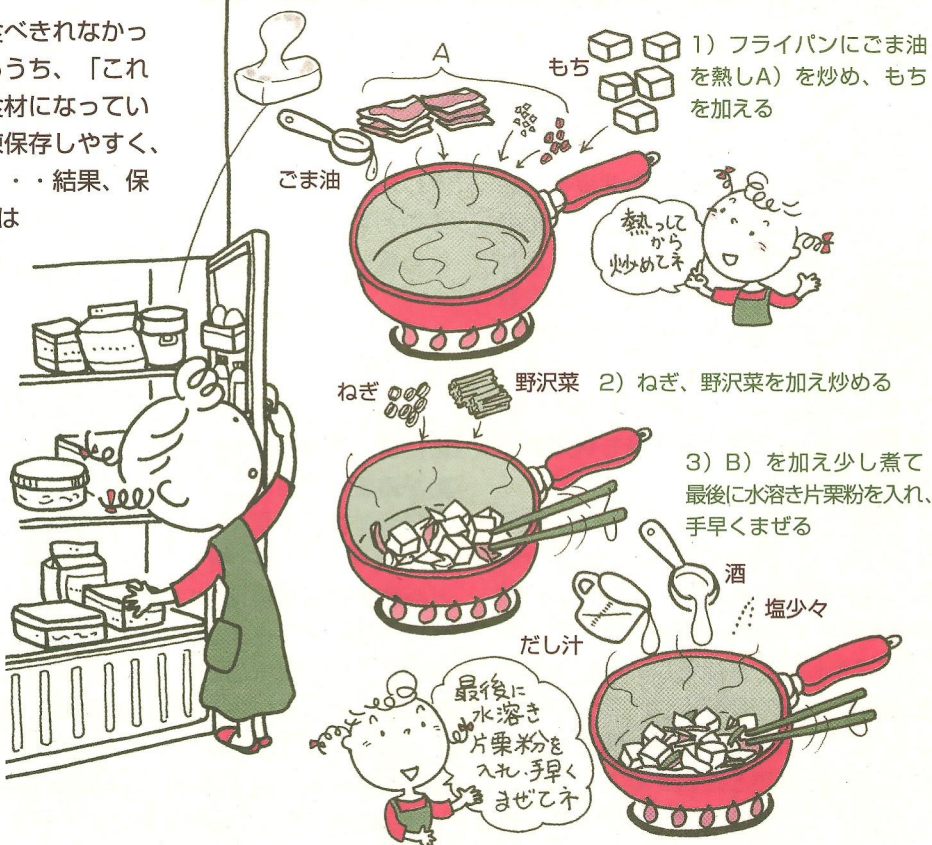
材料 4人分

A)	B)
ベーコン 3枚	酒 大さじ1
にんにく (みじん切り) 1/2片	だし汁 1/4cup
赤唐辛子 (種を取除く) 1本	塩 少々
もち (2cm角サイコロ状に切る) 200g	水溶き片栗粉 大さじ1
ねぎ (みじん切り) 1/3本	炒め用ごま油 大さじ2
野沢菜 漬物 (粗みじん切り) 40g	

新年を迎え、今年はどんな目標をたてられましたか？すでに、3日坊主で夢の達成をあきらめた方、日ごろの忙しさに流されて、強い意志を貫けない方、今年はまだまだ始まったばかりです。今からまた仕切りなおして、再度チャレンジしてください！自分の隠された才能が開花するかもしれません。

ところで、お正月のあと、冷凍庫には食べきれなかった食材が保存され、奥へ奥へ詰め込まれるうち、「これって何だったかしら？」と、正体不明の食材になっていることがよくあります。特にお餅は、冷凍保存しやすく、お正月に食べ飽きてポイッ！と冷凍庫へ・・・結果、保存のためというものの、気づいたときには古くなり捨ててしまう方が多いようです。食べられるものをゴミにしてしまうのは、もったいないことです。特に去年はもち米の不作で、おもちは貴重品となりました。エコロジー・クッキングの大きな目的はムダをしない食スタイルの実現です。もう一度基本に返り、今年もシンプルなことこそ徹底して行動したいものです。

さあ！さっそく Open the 冷凍・冷蔵庫。眠っている食材をよみがえらせて (revive) お料理してください。自分の才能もよみがえるはず！
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



コラム

『リサイクル
今とむかし』
こぼれ話

紙おむつの歴史はヒジョーに浅い

ゆかたが布として最後に役立つのがおむつ、ということには別冊でふれました。現在、おむつといえば当然のように“紙”と思ってしまう人が多くなっているようですが、その歴史は非常に浅いのです。

1960年、それまでの“おむつは布”という常識をくつがえす紙おむつ (紙おむつの上におむつカバーをあてる形のもの) がヨーロッパから伝わりました。しかし当時の人々には使い捨ての感覚がなじまず、また「なまけ者が使うもの」という意識があり不評でした。1974年にアメリカで開発された高分子吸収体によって品質が上がったのをきっかけに、その後は年々売れ行きが急増しました。ちなみに、現在の紙おむつ普及率は85%ほどあるそうです。

このコラムでは、月刊リサイクルデザインの別冊として発行した『リサイクル 今とむかし』に掲載しきれなかった「こぼれ話」を連載します。



にっこう生活館

みなさん、「リグラス」を知っていますか？使用したガラス製品を原料として再利用して作ったガラス製品の事です。普通のびんもカレット（ガラス製品を砕いたもの）を原料の一部として使用していますが、ここではマヨネーズの空きびんを100パーセント原料として使っています。一般のガラス原料と違い、硬くて加工がしにくいので作業には大変な手間

がかかります。そうしてできあがるのは、醤油さしやタンブラー、花器、和風のグラスにランプシェードなど。吹きガラスという製法で一つ一つ手作りされたリグラスは、どれをとっても深い味わいと温かみがあり、厚手で丈夫なのが特徴です。こどもの国(青葉区)にほど近い「にっこう生活館」は横浜で唯一、このリグラスを取り扱っている店です。こちらでは窯元で出た売りに出せない陶器を原料にした、佐賀県の瀬戸物のリサイクル食器「エコポーセリン」も取り扱っています。

店主の関根眞一さんは「良いものを大事に使えばムダにはならないんです。でもよいものを作る時にもムダは出る。それを少しでも減らしたくて、和食器を扱う私たちにできることを考えた時に出会ったのがリグラスでした」とガラスや陶器をリサイクルした品を置くようになったき

リグラス発案者 鍋谷さん っかけを話します。

昨年12月にはリグラス展がおこなわれ、たくさんの食器ファンが見守る中、作ら

れたきっかけや制作の苦労などがガラス工芸家の片桐さんやリグラス発案者の鍋谷さんから語られました。

「にっこう生活館」には常時30点のリグラスが置かれています。ガラス工芸家、ガラス問屋、そして販売店それぞれがリサイクルの輪を広げようと頑張っています。あなたもこの輪の中に入ってみませんか？

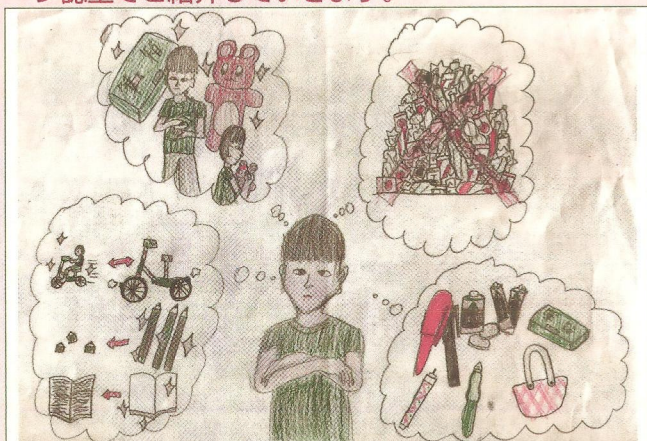
にっこう生活館

〒227-0038横浜市青葉区奈良1-18-14
TEL 045-961-8890/FAX 045-962-1195
HP <http://www.seikatukan.co.jp>

ガラス工芸家 片桐さん

環境絵日記

2003年第9回リサイクルデザインフォーラムの環境絵日記入賞作品を随時月刊リサイクルデザイン誌上でご紹介していきます。



三ツ沢小学校 6年 斉藤啓子
8月18日 月曜日 天気 くもり
わたしは、ゴミを減らすためには、身近なことから始めた方が、いいと思います。
まず一つは、なるべく長く使うものを買った方がいいと思います。なぜなら、すぐ使って捨てるよりも長く使ったゴミの量を減らす方がいからです。二つ目は、ものをためこまないことです。理由は、ものをためたあといつきにゴミを出すときにくく減ったと思つたのにまたゴミが増えてしまうからです。三つ目は、最後までものを使うことです。なぜなら古いゴミが増えてしまします。だから、古くても使えるものは最後まで使った方がゴミが減ります。
だからまずは、ものを大切に扱うことから始めた方がG30大作戦の第一歩だと思います。

牛乳パックから生まれた紙ひも



こむすび
山結くん

で
古紙をしばればまるごとリサイクル



1巻きの長さ90m		価格	送料
バラ売り		1巻250円	1~6巻400円 7巻~ 600円
箱売り (1箱50巻)	1~9箱	1箱11500円 (1巻230円)	価格に 含まれます
	10箱~	1箱 9500円 (1巻190円)	

お申し込み 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お問い合わせ TEL045-316-4050 FAX045-316-6050

小結くん販売場所 ●横浜市青葉区・緑区・磯子区・都筑区・神奈川区の区役所売店 ●グリーンバザール(南区) ●ブックショップふれあい戸塚店(戸塚区ダイエー横) ●大船店(鎌倉市小袋谷) ●コミュニティストアすすきや(戸塚区) ●エコロジーショップエッセンス(中区) ●御菓子処おきな堂(神奈川区) ●村松商店(鶴見区生麦) ●おおぐち通商店街事務所(神奈川区) ●ぶろむろーど杉田商店街事務所(磯子区) 販売して下さるお店募集中!



RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2003年12月現在
日経 12/25

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** 0円	5.5~6円
雑誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

* 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料

*** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格

★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。

取引条件により多少変化します。

★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。

事業所ごとに業者と直接ご相談ください。

★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。

★ 小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION

機会がなにかと多くなるのではないだろうか。

今年から来年にかけて「ごみとは何か、資源とは何か」を考える

「10分別15品目」に変わります。みなさんの家庭や会社でも、

みが始まりました。来年度の平成17年4月からは、市内全域が

30」を合い言葉に、ごみの減量・リサイクルの推進の取り組み

「騒ぐ」ことになりましたが、横浜は昨年「ヨコハマはG

千里を走り、卯は跳ねる」です。となると、今年の申年は、

申酉騒ぐ。戌は笑、亥固まる、子は繁栄、丑つまづき、寅

ます。ちなみに、全文は「辰巳天井、午しり下がり、未辛抱、

株式市場では古くから「未辛抱、申酉騒ぐ」といわれてい

ちよつと気になる「申年」

編集室から

リサイクルデザインのビデオ 「未来を生み出すリサイクル」

このビデオは、暮らしの中から出る資源物(古紙・空きカン等)がどのようにリサイクルされているかを、一人の小学生の目を通して見ていく様子が描かれています。ぜひリサイクルの学習等にご活用ください。



「リサイクル今とむかし」 リサイクルデザイン 別冊

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。今回、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊「リサイクル 今とむかし」を発刊しました。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。

好評発売中!



月刊リサイクルデザイン別冊

FAX 045-316-5122

Eメール mail@recycledesign.or.jp

詳しいことは

横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-316-4050 FAX 045-316-6050

価格 350円 (税込)

フルカラー24頁

※送料は別料金になります

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

● マリンスポーツデスク・リップル (鶴見日新ビル2F) ● グリーンバザール (南区六ツ川) ● ブックショップふれあい戸塚店 (ダイエー横) ● 大船店 ● 地酒 篠原屋 (港北区篠原) ● 神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ● 損保ジャパン横浜支店 ● 東京ガス環境エネルギー館 ● マルエツ井土ヶ谷店 ● 大倉山店 ● 相鉄ローゼンミツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ● マイカル天王町サティ店 ● ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ● カフェ杜 (港北区日吉) ● きまま舎 (緑区霧が丘) ● うどんカフェ (青葉区こどもの国) ● 横浜国際ホテル (西区南幸) ● さくら歯科クリニック (オーケー港北ニュータウン店2F) ● リサイクルショップ「トロワの森」 ● 横浜国立大学生協同組合大学会館店・工学部店 ● 神奈川県中小企業団体中央会 (中区尾上町)

月刊 リサイクルデザイン No.113

発行日: 2004年1月25日

発行人: 秋元康男

編集人: 工藤健一

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

栗原清剛・大内 敦

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

〒220-0005

横浜市区南幸2丁目16番22号 金属ビル3階

TEL 045-316-4050/FAX 045-316-5122

制作: (企) エコ・アド

印刷: (株) 横浜プリント

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK (大豆インク) を使用しています。

